

●名称：ハチロク・トロフィ

●クラス

- ・ Gr-Aクラス、Gr-Aplusクラス、Gr-Bクラスを設定
- ・ Gr-Aクラス、Gr-A+クラスは市販Sタイヤの使用を可能とし、その他のルールは下記項目を参照
- ・ Gr-Bクラスは市販ラジアルタイヤのみの使用とし、その他のルールは下記項目を参照

●賞典

- ・ 各クラス混走。ただし、別賞典とし、各クラス3位までトロフィーにて表彰します

●Gr-Aクラス

●エンジン

- ・ エンジンユニットは、4AG-4バルブ/5バルブユニット、および、4AG-Zユニットを対象
- ・ 4AG以外へのエンジンユニットの換装は可。ただし、ロータリーへの換装は不可・4AGユニットの自然吸気型エンジンのみボア/ストロークの変更が可
- ・ 4AGユニットのみヘッドの変更。および、ヘッドの加工が可・4AGユニットのみ、バルブ開閉タイミングの変更が可
- ・ 4AGユニットのみ、バルブ、バルブガイド、リングの素材変更が可・4AGユニットのみ、点火タイミングの変更が可
- ・ タイミングベルトの形式、および、素材変更が可
- ・ 4AG-Zを含む 4AGユニットのみあらゆる過給器の後付けが可。ただし、過給器付き車輛のボア/ストロークの変更は不可

●トランスミッション

- ・ ミッションの作動方式の変更が可・シフト段数の変更が可・ギア比の変更が可

●デファレンシャル

- ・ リミテスリップデファレンシャルの装着が可・ファイナルギア比は規制しません・ピニオン数の変更が可・トラクションブラケットの装着が可

●ボディ

- ・ ボディ幅を左右合計20cmまで変更が可・ボンネット、トランクフード、フェンダー、ルーフ、ドアの素材変更が可
- ・ 上記素材を変更した場合、変形、脱落がないように装着してください・ドア、トランクフード、および、ルーフの形状変更は不可
- ・ ボンネットへの空力付加物の装着が可。ただし、その装着高は5cm以内とします
- ・ ボンネットの開口が可。ただし、開口部は、横60cm、縦18cm以内とし、開口部前部がボンネット前端より30cm以内とします
その際、ボンネット上部よりエンジンルームが見えないように処理が必要。その処理において、装着高は5cm以内とし、空力付加物と共通化は不可
- ・ ボンネットは、開口部以外、ボディとの間の隙間は不可・トランクへの空力付加物の装着が可。ただし、ルーフ、および、バンパー左右面より拡大することは不可
- ・ フロントスポイラー、および、サイドスカートは装着が可。ただし、最低地上高が2cm以上必要
- ・ フロントスポイラーに空力付加物の装着が可
- ・ リアディフューザーの装着が可。ただし、発火に細心の注意を行ってください。また、リアバンパーより突起せず、最低地上高が3cm以上必要
- ・ バンパー素材の変更が可。ただし、形状の変更は不可。ただし、フェンダーの拡大を伴う場合、フェンダーとの接触部のみ形状変更が可
- ・ 前後バルクヘッドの剥奪は不可・アンダーカバーの装着、および、そのフラット化が可
- ・ アンダーカバー、および、フロントスポイラーの前方への張り出しは、5cm以内で可・リア方向のボディサイズは、ノーマルサイズより張り出すのは不可

●ロールケージ

- ・ 6点式以上のロールケージ装着が義務。サイドバーの装着を強く推奨
- ・ ドア素材をオリジナルの鋼板から軽量化素材、または、低強度素材に変更した場合、サイドバーの装着が義務
- ・ ロールケージの構造材は、外径40mm/肉厚2.0mm以上とし、冷間引き抜きの継ぎ目無し純炭素鋼を使用してください
- ・ クロモリ鋼材を使用する場合は、FIA規定の外径40mm/肉厚2.0mmを推奨、ラリーアート規定の外径38.1mm、肉厚2.16mm鋼材の使用が可

●ロールケージの装着と検査

- ・ 厚さ3mm以上、面積120cm²の鋼板にロールケージを装着し、これと同様の鋼材/サイズで、ボディ床部を上下から挟み込むように設置してください
- ・ 設置のボルトは、8mm以上の4Tボルトとし、4本以上のボルトによって固定してください・運転席、助手席の緩衝剤は必ず装着
- ・ 前後バルクヘッドの貫通が可。その場合、貫通口の隙間は不可・鋼材の検査のために、直径5mmの穴を設け、その周辺を黄色い枠で囲ってください

●サイドバー

- ・ 鋼材は、ロールケージと同様の鋼材を使用。アルミ素材は不可・サイズは、外径38mm/肉厚2.5mm以上必要

●サスペンション

- ・ サスペンション形式の変更が可・構造材の変更が可・伸縮レート比は規制しません
- ・ スタビライザーの設置が可。その場合、方式、および、形状を規制しません。ただし、最低地上高は、フロントスポイラーと同様とします
- ・ タワーバーの装着が可。形状、および、素材の規制はしません

●灯火類

- ・ ストップランプ、テールモールランプ、後方ウインカーは必ず点灯することが必要です

●タイヤ

- ・ タイヤメーカー、および、タイヤ径、および、トレッドを規制しません・市販Sタイヤの装着のみ可。ただし、クムホ製縦溝1本のSタイヤの使用を禁止します

●シートベルト

- ・ 4点式以上のシートベルトをFIAの規定に則って設置してください・FIA公認（8856-2000規格）とします・有効期限は、製造年より5年

●ヘルメット

- ・ FIA公認（8856-2000規格）の自動車用フルフェイス型、および、自動車用ジェット型のみ着用が可・有効期限は、製造年より5年

●服装

- ・FIA公認（8856-2000規格）のレーシングスーツ、グローブ、シューズ、ソックスのみ着用が可・各有効期限は、製造年より5年
- ・シングルレイヤーのレーシングスーツは不可

●バッテリー

- ・車内に設置する場合は、バッテリーボックスなどで、完全に隔離してください

●燃料タンク

- ・AE86 純正タンク、または、安全燃料タンクへの変更が可・純正タンク使用の場合は、いかなる加工も不可
- ・安全燃料タンクへの変更の場合、装着位置を規制しません。ただし、確実に隔壁遮断してください

●排気システム

- ・エキゾースト、および、マフラーの形状、および、素材の変更が可

●吸気システム

- ・吸気システムの変更が可・制御システムの変更が可

●排気音量

- ・筑波サーキットコース2000の基準に適合することが必要です

●消火器

- ・1kg以上の容量を持つ消火器の設置が義務。3kg以上の容量を強く推奨
- ・設置の際、運転者が作動を可能とするボタンによってエンジンルームを消火できることが必要です。または、運転者が消火器を取り外し、消火活動ができることが必要です・その取付けは、横転時においても離脱しないことが必要です

●その他

- ・内張りの剥離が可・座席数は一座が可
- ・内容量1リットル以上のオイルキャッチタンクの装着が義務。その際、内容量を確認できるものが望ましい
- ・キルスイッチの装着を強く推奨。その取り付け位置は、車輛全部の運転席側のフロントウインドウ下部、および、車内とします。車内に設置する際は、運転者が操作可能であることが必要です・車体前後に牽引フックの装着が義務。その際、オリジナル工具の使用が可
- ・ゼッケンを自作する場合、直径50cm以上の円形、または、一辺40cm以上の四角形の白地に、黒色の太文字を用い、算数字の数字で表記してください
ゼッケン数字の書体は規制しません。ただし、管制塔より可読性があることが必要です・フロントウインドウを除くウインドウのアクリル化が可
- ・ロールケージ、シートベルト、レーシングスーツ、グローブ、シューズは、現状を過渡的な状態とし、近い将来に規定に則った変更を行うことを前提に、昨年まで使用していたものを可とします。ただし、新たに製作や購入を行う場合は、規定通りとします

●Gr-Aplusクラス**●エンジン**

- ・エンジンユニットは、4AGのみを対象とし、4AG-4バルブ/5バルブユニットを対象・4AG以外へのエンジンユニットの換装は不可
- ・ボアの変更が可・ストロークの変更は不可・ヘッドの変更、および、ヘッドの加工が可・クランクシャフトはトヨタ純正4AG用とし、年式、車種を問いません
- ・バルブ、バルブガイド、リングの素材変更が可
- ・点火タイミングの変更が可。4バルブの場合、288°/9mmリフトまでの使用が可。5バルブの場合、272°/9.2mmリフトまでの使用が可
- ・タイミングベルトの形式、および、素材変更が可・あらゆる過給器の後付けは不可

●トランスミッション

- ・AE86用を使用

●デファレンシャル

- ・リミテッドスリップデファレンシャルの装着が可・ファイナルギア比は規制しません・ピニオン数の変更が可・トラクションブラケットの装着が可

●ボディ

- ・ボディ幅の変更が可。ただし、左右合計2cm以内としてください
- ・ボンネット、トランクフード、フェンダー、ルーフの素材変更が可。素材を変更した場合、変形、脱落がないように装着してください
- ・上記において、トランクフード、および、ルーフの形状変更は不可・ドアは左右ノーマルのみ可
- ・ボンネットへの空力付加物の装着、および、開口は不可・ボンネットとボディの間の隙間は不可
- ・フロントスポイラーを除き、ウイング、カナード、ディフューザーの装着は不可。ただし、フロントスポイラーは最低地上高が2cm以上必要
- ・バンパー素材の変更は不可。ただし、形状の変更は不可。ただし、フェンダーの拡大を伴う場合、フェンダーとの接触部のみ形状変更が可
- ・前後バルクヘッドの剥奪は不可・アンダーカバーの装着、および、そのフラット化が可。ただし、フロントバンパー部分のみとします
- ・リア方向のボディサイズは、ノーマルサイズより張り出すのは不可

●ロールケージ

- ・6点式以上のロールケージ装着が義務。サイドバーの装着を強く推奨
- ・ロールケージの構造材は、外径40mm/肉厚2.0mm以上とし、冷間引き抜きの継ぎ目無し純炭素鋼を使用してください
- ・クロモリ鋼材を使用する場合は、FIA規定の外径40mm/肉厚2.0mmを推奨するが、ラリーアート規定の外径38.1mm、肉厚21.6mm鋼材の使用が可

●ロールケージの装着と検査

- ・厚さ3mm以上、面積120cm²の鋼板にロールケージを装着し、これと同様の鋼材/サイズで、ボディ床部を上下から挟み込むように設置してください
- ・設置のボルトは、8mm以上の4Tボルトとし、4本以上のボルトによって固定してください・運転席、助手席の緩衝剤は必ず装着してください
- ・前後バルクヘッドの貫通が可。その場合、貫通口の隙間は不可・鋼材の検査のために、直径5mmの穴を設け、その周辺を黄色い枠で囲ってください

●サイドバー

・鋼材は、ロールケージと同様の鋼材を使用してください。アルミ素材は不可・サイズは、外径38mm／肉厚2.5mm以上とします

●サスペンション

・サスペンション形式の変更が可。ただし、ロアアームの全長は純正サイズであることが必要です・構造材の変更が可・伸縮レート比は規制しません
・スタビライザーの設置が可。その場合、方式、および、形状を規制しません。ただし、最低地上高は、フロントスポイラーと同様とします
・タワーバーの装着が可。形状、および、素材の規制はしません

●灯火類

・ストップランプ、テールモールランプ、後方ウインカーは必ず点灯することが必要です・バルブを除きノーマルであることが必要です

●タイヤ

・タイヤメーカーを規制しません。ただし、ホム製縦溝1本のSタイヤの使用を禁止します・市販Sタイヤの装着が可
・幅195サイズ以下とし、外径は規制しません・ホイールの幅を7.5J以下とし、オフセット0までの使用が可

●シートベルト

・4点式以上のシートベルトをFIAの規定に則って設置してください・FIA公認（8856-2000規格）とします・有効期限は、製造年より5年

●ヘルメット

・FIA公認（8856-2000規格）の自動車用フルフェイス型、および、自動車用ジェット型のみ着用が可・有効期限は、製造年より5年

●服装

・FIA公認（8856-2000規格）のレーシングスーツ、グローブ、シューズ、ソックスのみ着用が可・各有効期限は、製造年より5年
・シングルレイヤーのレーシングスーツは不可

●バッテリー

・車内に設置する場合は、バッテリーボックスなどで、完全に隔離してください

●燃料タンク

・AE86 純正タンク、または、FIA規定による安全燃料タンクへの変更が可・純正タンク使用の場合は、いかなる加工も不可
・安全燃料タンクへの変更の場合、装着位置を規制しません。ただし、確実に隔壁遮断してください

●排気システム

・エキゾースト、および、マフラーの形状、および、素材の変更が可

●吸気システム

・吸気システムの変更が可・制御システムの変更が可

●排気音量

・筑波サーキットコース2000の基準に適合することが必要です

●消火器

・1kg以上の容量を持つ消火器の設置が義務。3kg以上の容量を強く推奨
・設置の際、運転者が作動を可能とするボタンによってエンジンルームを消火できること。または、運転者が消火器を取り外し、消火活動ができることが必要です
・その取付けは、横転時においても離脱しないようにしてください

●その他

・内張りの剥離が可。・座席数は一座が可
・内容量1リットル以上のオイルキャッチタンクの装着が義務。その際、内容量を確認できるものが望ましい
・キルスイッチの装着が義務。その取り付け位置は、車輛全部の運転席側のフロントウインドウ下部、および、車内。車内に設置する際は、運転者が操作可能であることが必要です
・前後に牽引フックの装着が義務。その際、オリジナル工具の使用が可
・ゼッケンを自作する場合、直径50cm以上の円形、または、一辺40cm以上の四角形の白地に、黒色の太文字を用い、算数字の数字で表記してください
ゼッケン数字の書体は規制しません。ただし、管制塔より可読性があることが必要です
・フロントウインドウを除くウインドウのアクリル化が可
・ロールケージ、シートベルト、レーシングスーツ、グローブ、シューズは、現状を過渡的な状態とし、近い将来に規定に則った変更を行うことを前提に、昨年まで使用していたものを可とします。ただし、新たに製作や購入を行な場合は、規定通りとします

●Gr-Bクラス**●エンジン**

- ・エンジンユニットは、4AG-4バルブ/5バルブユニットを対象とします・エンジンユニットは、4AG以外への換装は不可
- ・4AG-Zは不可・ボア/ストロークの変更が可・バルブ数の変更、または、ヘッドの変更が可。ただし、ヘッドの加工は不可
- ・バルブ開閉タイミングの変更が可・点火タイミングの変更が可・バルブ、バルブガイド、リングの素材変更は不可・あらゆる過給器の後付けが不可
- ・タイミングベルトの形式、および、素材変更は不可

●トランスミッション

- ・ミッションの作動方式の変更は不可・シフト段数の変更は不可・ギア比の変更が可

●デファレンシャル

- ・リミテスリップデファレンシャルの装着が可・ファイナルギア比は規制しません・ピニオン数の変更が可
- ・トラクションブラケットの装着が不可

●ボディ

- ・ボディ幅の変更が可。ただし、左右合計2cm以内・ボンネット、トランクフード、フェンダー、ドアの素材変更が可・ルーフの素材変更は不可
- ・上記素材を変更した場合、変形、脱落がないように装着してください・トランクフード、および、ドアの形状変更は不可
- ・ボンネットへの空力付加物の装着は不可・ボンネットの開口は不可。ボディとの間の隙間は不可
- ・トランクへの空力付加物の装着が可。ただし、ルーフおよび、バンパー左右面より拡大することは不可
- ・フロントスポイラーの装着が可・サイドスカートは不可。ただし、最低地上高が5cm以上であることが必要です
- ・フロントスポイラーに空力付加物の装着が可・リアディフューザーの装着は不可・バンパー素材の変更が可。ただし、形状の変更は不可
- ・前後バルクヘッドの剥奪は不可・アンダーカバーの装着、および、そのフラット化が可
- ・アンダーカバー、および、フロントスポイラーの前方への張り出しは、5cm以内で可・リア方向のボディサイズは、ノーマルサイズより張り出すのは不可

●ロールケージ

- ・4点式以上のロールケージ装着を極めて強く推奨。6点式ロールケージ、および、サイドバーの装着が望ましい
- ・ドア素材をオリジナルの鋼板から軽量化素材、または、低強度素材に変更した場合、サイドバーの装着が義務
- ・ロールケージの構造材は、外径40mm/肉厚2.0mm以上とし、冷間引き抜きの継ぎ目無し純炭素鋼を使用してください
- ・クロモリ鋼材を使用する場合は、FIA規定の外径40mm/肉厚2.0mmを推奨、ラリーアート規定の外径38.1mm、肉厚2.16mm鋼材の使用が可

●ロールケージの装着と検査

- ・厚さ3mm以上、面積120cm²の鋼板にロールケージを装着し、これと同様の鋼材/サイズで、ボディ床部を上下から挟み込むように設置してください
- ・設置のボルトは、8mm以上の4Tボルトとし、4本以上のボルトによって固定してください・運転席、助手席の緩衝剤は必ず装着してください
- ・前後バルクヘッドの貫通が可。その場合、貫通口の隙間は不可・鋼材の検査のために、直径5mmの穴を設け、その周辺を黄色い枠で囲ってください

●サイドバー

- ・鋼材は、ロールケージと同様の鋼材を使用してください。アルミ素材は不可・サイズは、外径38mm/肉厚2.5mm以上とします

●サスペンション

- ・サスペンション形式の変更は不可・構造材の変更は不可。ただし、車高調整式アブソーバーへの換装は可
- ・伸縮レート比は規制しません
- ・スタビライザーの設置が可。その場合、方式、および、形状を規制しません。ただし、最低地上高は、フロントスポイラーと同様とします
- ・タワーバーの装着が可。形状、および、素材の規制はしません

●灯火類

- ・ストップランプ、テールモールランプ、後方ウインカーは必ず点灯することが必要です

●タイヤ

- ・タイヤメーカーを規制しません・市販ラジアルタイヤの装着のみ可・タイヤ径、および、トレッドのワンサイズ拡大が可

●シートベルト

- ・4点式以上のシートベルトをFIAの規定に則って設置してください・FIA公認（8856-2000規格）とします・有効期限は、製造年より5年
- ・タイヤ径、および、トレッドのワンサイズアップのみ可

●ヘルメット

- ・FIA公認（8856-2000規格）の自動車用フルフェイス型、および、自動車用ジェット型のみ着用が可・有効期限は、製造年より5年

●服装

- ・FIA公認（8856-2000規格）のレーシングスーツ、グローブ、シューズ、ソックスのみ着用が可・各有効期限は、製造年より5年
- ・シングルレイヤーのレーシングスーツが可。ダブルレイヤー以上のスーツを強く推奨
- ・耐火性が保証されない作業用スーツや俗に走行会用スーツとして販売されているものは着用不可

●バッテリー

- ・車内に設置する場合は、バッテリーボックスなどで、完全に隔離してください

●燃料タンク

- ・AE86 純正タンク・純正位置、または、安全燃料タンクへの変更が可・純正タンク使用の場合は、いかなる加工も不可
- ・安全燃料タンクへの変更の場合、装着位置を規制しません。ただし、確実に隔壁遮断してください

●排気システム

- ・エキゾースト、および、マフラーの形状、および、素材の変更が可

●吸気システム

- ・吸気システムの変更が可・制御システムの変更が可

●排気音量

- ・筑波サーキットコース2000の基準に適合することが必要です

●消火器

- ・1kg以上の容量を持つ消火器の設置強く推奨。3kg以上の容量を強く希望します
- ・設置の際、運転者が作動を可能とするボタンによってエンジンルームを消火できる、または、運転者が消火器を取り外し、消火活動ができることが必要です
- ・その取付けは、横転時においても離脱しないようにしてください

●その他

- ・内張りの剥離が可・座席数は一座が可
- ・内容量1リットル以上のオイルキャッチタンクの装着が義務。その際、内容量を確認できるものが望ましい
- ・キルスイッチの装着を推奨します。その取り付け位置は、車輛全部の運転席側のフロントウインドウ下部、および、車内とします
車内に設置する際は、運転者が操作可能であることが必要です
- ・前後に牽引フックの装着が義務。その際、オリジナル工具の使用が可
- ・ゼッケンを自作する場合、直径50cm以上の円形、またはm一辺40cm以上の四角形の白地に、黒色の太文字で算数字の数字で表記してください
ゼッケン数字の書体は規制しません。が、管制塔より可読性があることが必要です
- ・フロントウインドウを除くウインドウのアクリル化が可
- ・ロールケージ、シートベルト、レーシングスーツ、グローブ、シューズは、現状を過渡的な状態とし、近い将来に規定に則った変更を行うことを前提に、昨年まで使用していたものを可とします。ただし、新たに製作や購入を行う場合は、規定通りとします